

# 運動・音楽も家庭教師に

子どもに家庭教師をつけて運動や音楽を習わせる家庭が増えている。教室に通うのに比べ料金は割高だが、習得度合いなどに合わせた丁寧な指導が好評だ。小学生向けの体育指導のほか、簡単な楽器演奏や工作をべ

ピーシッターが教えるサービスの利用も広がっている。共働き世帯の増加などで子供の面倒を見る時間が少なくなる一方で、早い時期からの教育が大切と考える少子化時代の親の心理が背景にあるようだ。

## 少子化時代 共働き家庭 利用広がる



自宅で野球のマンツーマンレッスンを受ける(横浜市都筑区)

## 割高だけど 丁寧な指導

「友達のような感覚で教えてもらえる」。横浜  
市に住む川口凌くん(11)

は週に一度くらいの頻度で、自宅で野球の個人指導を受けている。プロ野球選手を目指して、バッティング練習や短距離走などのメニューを二十歳代の指導者と二人で一時間強こなす。

父親の川口誠さんは少年野球チームの監督を務めた経験もあるが、「親の立場だとわかりすぎてしまうこともある。冷静に指導してもらえて良い」と話す。

野球の指導者を派遣するのはスポーツデータバンク(東京・中央)。大

学野球部に在籍する学生などに指導法を学ばせ、二〇〇五年から東京都のほか関東三県に派遣している。一回当たりの授業料は六千八百円と、月四回で七千四百四十円の同社のバッティングスクールより高い。現在五十件の利用があり、昨年に比べ倍増。生徒は野球部在籍の小学生が中心だ。

スポーティワン(同・渋谷)は学校の授業の補習向けなどに体育全般を教える。体育大学の卒業生中心に講師約二百人を首都圏に派遣する。運